

# 「交通活性化計画」

を策定します

一昨年に実施したバスアンケートの結果を活用し、市民の目線に立った交通体系の実現のための計画書づくりをはじめます 【問い合わせ先】 商工労働課 ☎ 82-1150

## 「"交通活性化計画"って何？」

自家用車を使わない高齢者にとっては、バスは貴重な移動手段の一つです。一方で、民間バス路線を維持するための市からの補助金は、年々増加しています。そこで、バス路線を含め、地域の実情に応じた、本市に望ましい「交通体系」のあり方を明らかにし、実現するための指針となる、「交通活性化計画」を平成20年10月を目標にまとめることにしました。



## 「以前、実施したバスアンケートは今回の計画づくりに反映されるの？」

平成17年10月に実施した路線バスに関するアンケート調査は、市民のみなさんの要望を把握する上での貴重な資料です。今回の計画を策定する上で、十分に活用させていただきます。

## 「どのような計画書になりそうですか？」

本市の交通体系の現状と問題点、市民の要望をしっかりと把握した上で、効率的・効果的なサービスの実現をめざした計画づくりを目指します。また、市民とバス事業者と市が一体となって計画づくりに取り組むための3つの目標を定めます。

- 1 市民との協働による計画づくり
- 2 事業者との協働による計画づくり
- 3 実効性のある計画づくり

「バスは大好きです。車の免許を持っていないので、いつもバスを使っています。バスを利用するときは、自宅から小野田駅前まで歩いていますが、且にも小型のバスが走ると便利です。」

(河野 松市さん：旦東)



## 山陽小野田市

## 「交通活性化計画検討委員会」——公募委員募集

- 募集人数 2人(委員全11人中。応募多数の場合は抽選)
- 応募要件 20歳以上の市民(国・地方公共団体の議員は除く)
- 任期 平成21年3月31日まで(会議は各年度3回程度開催予定)
- 提出期限 9月7日(金)(消印有効)
- 選考結果 直接本人に通知
- 応募方法 市役所2階商工労働課、市役所1階市民活動推進課、総合事務所地域行政課、南支所、埴生支所、公園通出張所、厚陽出張所に備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、作文(「山陽小野田市の生活交通について」:

800字程度)を添えて提出してください。郵便、FAX、E-mailでも構いません。応募用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。(提出書類は返却しません)

### ○問い合わせ・申込先

商工労働課  
(☎ 82-1150 FAX 83-2604)  
E-mail : shoukou@city.sanyo-onoda.lg.jp

